

KENWOOD

デュアルサイズCD/カセットレシーバー

DPX-44

デュアルサイズCD/MDレシーバー

DPX-55MD

MP3/WMA/AAC対応デュアルサイズCD/MDレシーバー

DPX-66MD

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



MDLP MD GROUP



Contents

この取扱説明書の読みかたや、全般的な注意事項が書いてあります。最初に一読してください。

本書の読みかた	4
安全上のご注意	6
メディアの取り扱い	10

ここを読めば、ひととおり操作できます。

Basic Operation	12
共通操作	12
ミュージックディスクや オーディオファイルを聴く	14
テープを聴く (DPX-44)	16
ラジオを聴く	17

各ソースのいろいろなプレイ方法が書いてあります。ちょっと慣れたら読んでください。

Music Disc & Audio File Listening	18
ディスク/フォルダ/グループサーチ	18
ランダムプレイ	18
マガジンランダムプレイ	19
グループランダムプレイ	19
スキャンプレイ	19
リピートプレイ	20
フォルダセレクト	20
グループセレクト	21
タイトル/テキストスクロール	21

Tape Listening (DPX-44)	22
リピートプレイ	22
DPSS (ダイレクトプログラムサーチ システム)	22
インデックススキャンプレイ	22
ブランクスキップ	23
ドルビーB NRシステム	23
テープポジションセレクター	23

Radio Listening	24
オートメモリー	24
マニュアルメモリー	24
チューニングモード	25
モノラルモード	25

本機のいろいろな設定や調整方法が書いてあります。

Name Set	26
DNPS (ディスクネームプリセット) / SNPS (ステーションネームプリセット)	26
AUXネームセレクト	27

Display Control	32
ディスプレイ表示切り替え	32
スペアナ切り替え	33

Audio Control	28
オーディオコントロールの詳細設定	28
オーディオセットアップ	29
イコライザーカーブの呼び出しと調整	30
デュアルゾーン設定	30
サブウーファー出力コントロール	31
SRS WOWコントロール選択	31
SRS WOWコントロール設定	31

Function Control	34
ファンクション設定	34
セキュリティコードの設定	36
セキュリティコードのクリア	37
セキュリティコードの入力	37
時刻合わせ	38

トラブルの解決方法などが書いてあります。思いどおりに動かないときに読んでください。

Help? Music Disc	39
オーディオファイル	39
MD Group	40
Help? Troubleshooting	41
共通	41
ミュージックディスク	41
オーディオファイル	41
カセットテープ	41
Help? Term	42
共通	42
オーディオコントロール	42
Function	43
Help? Error	46

本書の読みかた
安全上のご注意
メディアの取り扱い

Basic Operation

Music Disc & Audio File Listening

Tape Listening

Radio Listening

Name Set

Audio Control

Display Control

Function Control

Help?

取り付け時のご注意
接続
取り付け

取り付け時のご注意	48
接続	50
取り付け	52

保証とアフターサービス	53
仕様一覧	54

本書の読みかた

この説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。

このため、実際の機器とは異なることや、実際にありえない表示パターンが記載されていることがあります。

コントロールノブを動かす

コントロールノブの操作を下の図で表します。



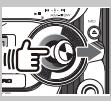
上へ



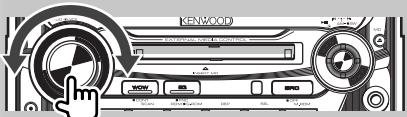
下へ



左へ



右へ



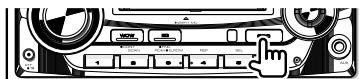
ボリュームノブを回す

▼：次の段に続きます。
●：ここで終わりです。

AUXネームセレクト

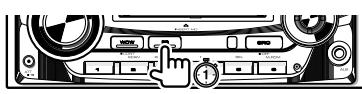
ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前(AUXネーム)を設定します。

1 AUXソースに切り替えます



▶ AUX / AUX EXT

2 ファンクションセットモードにします



▶ Function

3 ネームプリセットの項目を選択します



Name Set

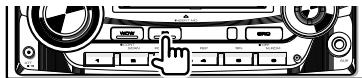
4 名前を選びます



左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。

- 表示
- TV
- VIDEO
- GAME
- PORTABLE
- DVD
- AUX/AUX EXT

5 AUXネーム選択を終了します



上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。



短く押す

➡ で示したキーまたはノブを押す。



1秒以上押す

➡ で示したキーまたはノブを1秒（または2秒/3秒）以上押す。



ディスプレイ表示

この表示になるまで左の操作を行います。



表示の切り替わり

操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。



ディスプレイ表示

使用できるモデル

機能によっては、使用できるモデルに制限がある場合があります。使用できるモデルを下のマークで表します。

DPX-44 : DPX-44

DPX-55MD : DPX-55MD

DPX-66MD : DPX-66MD

その他のマーク



ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。



特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。



その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

WOW、SRS (CD) 記号はSRS Labs, Inc.の商標です。WOWはSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品。

Windows Media™は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

The "AAC" logo is trademark of Dolby Laboratories.

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。



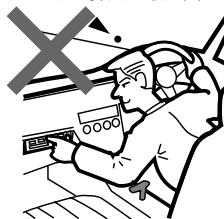
警告



実施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やカセットの挿入・取り出しなど）



実施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



⚠ 注意

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 异物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする



禁止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。



禁止

製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。



禁止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。

ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



実施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。

安全のため<お買い上げの販売店>にご依頼ください。



禁止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。

お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

修製品の分解や改造はしないでください。

火災その他の事故の原因となります。

DPX-44/66MDに接続できる

システムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャーが接続できます。接続できる機種はカタログをご覧ください。

● 1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

● "O-Nスイッチ"の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは"N"側に設定してください。

● 本機のDNPS機能は、本機内部の記憶機能に10枚まで記憶することができます。また、CDチェンジャーに内蔵の記憶機能についてはCDチェンジャーにより異なります。CDチェンジャーの取扱説明書を参照してください。

● 接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

● 別売品のCD/MDスイッティングユニット"KCA-S220A"を使用するとディスクチェンジャーを2台まで接続できます。接続などの詳しい説明は「接続」(p50) および、KCA-S220Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、英数文字とカタカナです。

使用できるリモコンについて

本機で使用できるリモコンについては、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help? Troubleshooting」(p41) を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをベン先などで押してください。



リセットボタン

● リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- CDやMDが取り出せない。
- CDやMDを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに"AUX EXT"と表示される。
- KCA-S220A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに"AUX EXT"と表示される。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60°Cを超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げてください。

保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

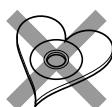
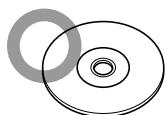
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与える、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作することがあります。



マークの付いていないCDは使用しないでください。

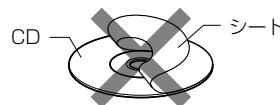
前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-RやCD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

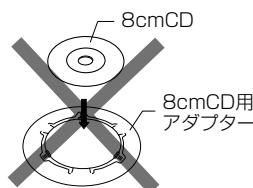
CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



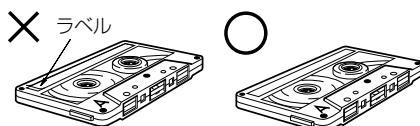
データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

ラベルのはがれかかったカセットテープは变形したカセットテープやラベルのはがれかかったカセットテープを使用すると故障の原因になります。ラベルがはがれかかっているときは、貼り直してから使用してください。



メディアの取り扱い

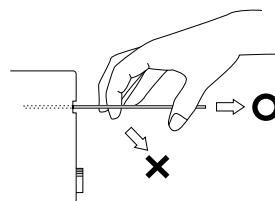
CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)



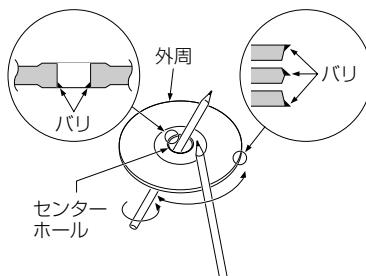
CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。



新しいCDを使うときは

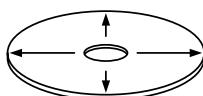
新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。"バリ"がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。

従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナー やベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。

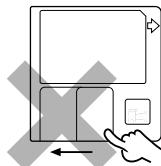


MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れやゴミは乾いた布でふき取つてから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用すると、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。
また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

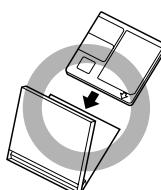
MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。
シャッターが何らかの原因で開いてしまったときは、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触ると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



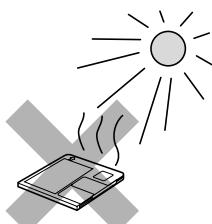
MDの保管

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。
また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



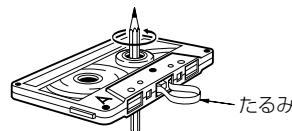
MDの保存

MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



カセットテープの取り扱いについて

テープにたるみがるときは、図のように鉛筆などでたるみをなくしてから使用してください。



100分以上のカセットテープは大変薄く、テープがピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどのトラブルが起こりやすいので使用しないでください。

エンドレステープは使用しないでください。

ヘッドクリーニングについて

本機を長時間使うと、ヘッドの表面にテープの磁性分やゴミが付着し、雑音が出たり音質が悪くなることがあります。このようなときは、クリーニングテープやヘッドクリーニングキットでヘッド部分を掃除してください。クリーニングテープ・ヘッドクリーニングキットはオーディオ専門店などで市販されています。中にはカーオーディオ用としては適さないものもありますので、確認のうえお買い求めください。

カセットテープの保存

カセットテープをダッシュボードの上、リアトレイの上など高温になる場所や、ヒーターの熱風のかかる場所へは置かないでください。

Basic Operation

共通操作



電源をオン/オフします

キーを押すと、電源がオンになります。
1秒以上押し続けると、電源がオフになります。

音量を調整します



●「オーディオセットアップ」(p29)の「V-OFF」を設定している場合は、音量の調整範囲が狭くなります。

交通情報を聴きます

キーを1秒以上押し続けると、交通情報を受信します。
もう一度1秒以上押し続けると、元のソースに戻ります。



- コントロールノブ(B)を左右に動かすと、交通情報の周波数(1620kHz/1629kHz/522kHz)を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にボリュームノブ(E)で音量を調整すると、交通情報受信時の音量が記憶されます。



安全のために、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。

音量を素早く下げます

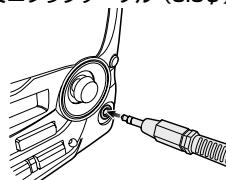
キーを押すと、音量が小さくなります(アッテネーター)。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。



- アッテネーターの動作中にはATTインジケーターが点滅します。

外部機器を聴きます

AUX端子にポータブルオーディオ機器などを、市販のミニプラグケーブル(3.5φ)で接続します。



次に (E) を押して “AUX” ソースに切り替えます。



- 内蔵AUXソースに切り替えるには、「ファンクション設定」(p34)の“AUX”を“ON”に設定している必要があります。
- 接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。

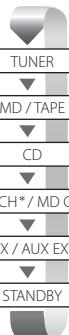
時計の調整について

時計の調整はメニューで行います。詳しくは「ファンクション設定」(p34)をご覧ください。

C

ソースを切り替えます

キーを押すたびに、プレイ可能なソースが次の順に切り替わります。



FM/AM放送を受信します。

MD (DPX-55MD/DPX-66MD) またはカセットテープ (DPX-44) をプレイします。

CDまたはオーディオファイル (DPX-66MD) をプレイします。

CDチェンジャーまたはMDチェンジャー内のディスクをプレイします (DPX-44/DPX-66MD)。

内部AUX/外部AUXに入力されたサウンドを出力します。

何もプレイされませんが、時計などは表示されます。



● *で示したソースは別売品です。

● **●**キー \textcircled{C} を押しても、挿入されていないソース (CDなど) や接続していないソース (CDチェンジャーなど) など使用できないソースは飛ばされます。

● DPX-66MDでプレイできるオーディオファイルの種類やメディア、ディスクフォーマットについては「Help? Music Disc」(p39) をご覧ください。

● CD、MD、カセットテープ (DPX-44) 、またはオーディオファイルのディスク (DPX-66MD) を挿入すると、挿入したメディアがプレイされます。

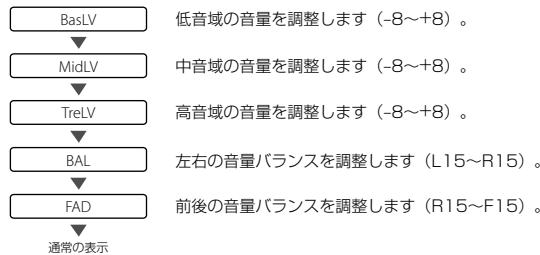
● AUX表示やKCA-S220Aを使用したAUX EXT表示は「AUXネームセレクト」(p27) で変えることができます。

E

音質などを調整します

設定したいソースにしてからノブを押して調整する項目を選択し、ノブを左右に回して調整します。

調整項目は次の順に切り替わります。



BasLV 低音域の音量を調整します (-8~+8)。

MidLV 中音域の音量を調整します (-8~+8)。

TreLV 高音域の音量を調整します (-8~+8)。

BAL 左右の音量バランスを調整します (L15~R15)。

FAD 前後の音量バランスを調整します (R15~F15)。

通常の表示



● 音質調整は、詳細に設定することができます。詳しくは「オーディオコントロールの詳細設定」(p28) をご覧ください。

● プレイする音楽のジャンルにあった音質に簡単に設定することもできます。詳しくは「イコライザーカーブの呼び出しと調整」(p30) をご覧ください。

● **●**、**①**または**②**以外のボタンを押すと、すぐに通常の表示に戻せます。

ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く



A・B

CDをプレイします

CD插入口**A**にCDを挿入すると、差し込んだCDがプレイされます。

CDを取り出します

CDイジェクトキー**B**を押す。



- CDモード中は **CD** インジケーターが点灯します。
- CDは水平に挿入してください。
- CDが入っているときには **CD** インジケーターが点灯します。
- CDがすでに入っているときには、**CD** キーでCDモードに切り替えるとプレイされます。
- DPX-66MDでは、通常のCDのほかに、オーディオファイルが収録されたディスクをプレイできます。プレイできるオーディオファイルの種類やメディア、ディスクフォーマットについては、「Help? Music Disc」(p39) をご覧ください。
- MP3ファイルのプレイ中には **MP3** インジケーター、WMAファイルのプレイ中には **WMA** インジケーター、AACファイルのプレイ中には **AAC** インジケーターが点灯します。
- その他、CDやオーディオファイルが収録されたCD-Rなどのいろいろなプレイ方法については、「Music Disc & Audio File Listening」(p18) をご覧ください。

E

早送り/早戻しします

コントロールノブ**E**を右に押し続けると、押している間、曲が早送りされます。また、コントロールノブ**E**を左に押し続けると、押している間、早戻しされます。



- オーディオファイルの早送り/早戻し中には音は出ません。
- AACファイルは、早送り/早戻しできません。

C D

MDをプレイします (DPX-44を除く)

MD挿入口●にMDを挿入すると、差し込んだMDがプレイされます。

MDを取り出します

MDイジェクトキー●を押す。



- MDモード中は **MD** インジケーターが点灯します。
- 長時間モード (MDLP2/MDLP4) で記録されたMDのプレイ中には **MDLP 2** または **MDLP 4** インジケーターが点灯します。
- MDが入っているときには **■** インジケーターが点灯します。
- MDがすでに入っているときには、**END** キーでMDモードに切り替えるとプレイされます。
- 本機にはMDグループ管理機能があります。詳しくは「Help? Music Disc」(p40)をご覧ください。
- お買い上げ時の状態では、MDグループ管理機能はオフになっています。MDグループ管理機能を使うときには、この機能をオンにしてください。詳しくは「ファンクション設定」(p34)をご覧ください。
- Hi-MD用ディスクやHi-MD形式でフォーマットしたディスク、データ用MDは使用できません。従来の音楽用のMDを使用してください。
- その他、MDのいろいろなプレイ方法については、「Music Disc & Audio File Listening」(p18)をご覧ください。

E

プレイ/ポーズします

コントロールノブ●を一度押すと、プレイを一時停止します。

もう一度押すと、プレイを再開します。

E

プレイする曲を選びます

コントロールノブ●を右に動かすと、次の曲がプレイされます。

コントロールノブ●を左に動かすと、プレイ中の曲の先頭に戻るか、前の曲がプレイされます。

テープを聴く (DPX-44)



A・B

テープをプレイします

テープ挿入口**A**にカセットテープを挿入すると、差し込んだカセットテープがプレイされます。

テープを取り出します

テープイJECTキー**B**を押します。



- カセットテープモード中は **CAS** インジケーターが点灯します。
- カセットテープが入っているときには **REC** インジケーターが点灯します。
- カセットテープがすでにに入っているときには、**TAPE** キーでTAPEモードに切り替えるとプレイされます。
- その他、カセットテープのいろいろなプレイ方法については、「Tape Listening (DPX-44)」(p22)をご覧ください。
- カセットテープは車のエンジンキーをオフにした後も、10分間は取り出すことができます。

C

テープをリバースします

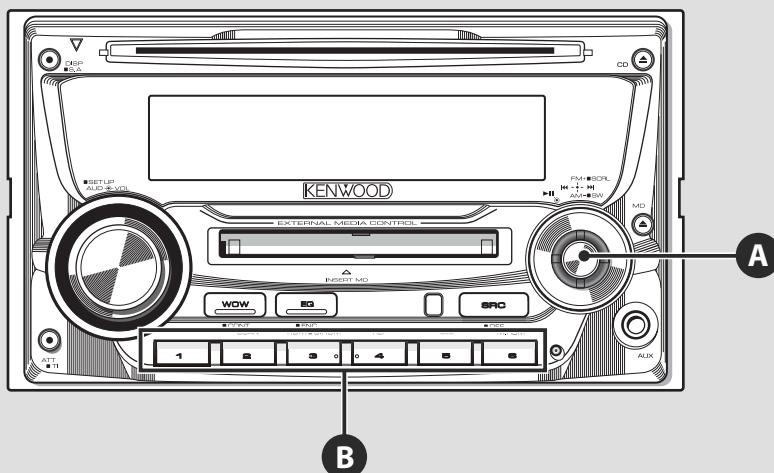
コントロールノブ**C**を押すたびに、カセットテープの再生面が切り替わります。

C

早送り/巻戻しします

コントロールノブ**C**を上に動かすとカセットテープを早送り、下に動かすと巻戻しします。
早送り/巻戻し中にコントロールノブ**C**を押すと、そこからプレイされます。

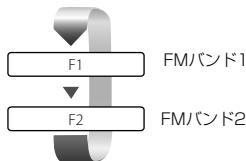
ラジオを聞く



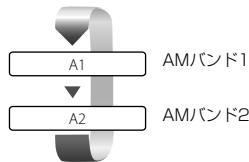
A

バンドを切り替えます

コントロールノブAを上に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



コントロールノブAを下に動かすと、受信バンドが次のように切り替わります。



- チューナーモード中は **TUN** インジケーターが点灯します。
- ステレオ受信中は **ST** インジケーターが点灯します。
- その他、チューナーのいろいろなプレイ方法については、「Radio Listening」(p24)をご覧ください。

A

自動選局します

コントロールノブAを左右に動かすと、受信状態の良い放送局を自動的に選局します。



- コントロールノブAを左右に動かしたときの選局の方法は、チューニングモードによって異なります。詳しくは「チューニングモード」(p25)をご覧ください。

B

プリセット局を選局します

キーを押すと、押したキーにメモリーされている放送局を選局します。



- Bのプリセットチューニングは、あらかじめ各キーに放送局がメモリーされている必要があります。メモリー方法については、「オートメモリー」(p24)または「マニュアルメモリー」(p24)をご覧ください。

Music Disc & Audio File Listening

ミュージックディスク（CD、MD、オーディオファイルを記録したディスク）を本機や別売品のディスクチェンジャーでいろいろな機能を使ってプレイできます。



- CD/MDの基本的な聴きかたは「ミュージックディスクやオーディオファイルを聴く」（p14）をご覧ください。
- オーディオファイルは、DPX-66MDでのみプレイできます。

ディスク/フォルダ/グループサーチ (MP3/WMA/AAC/MDメディア、ディスクチェンジャーのみ)

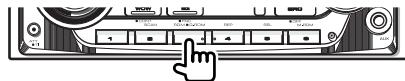
プレイするディスク、フォルダ、またはグループを選択します。



- ディスクサーチは、別売品のディスクチェンジャーのプレイ中に使えます。
- フォルダサーチは、DPX-66MDでのオーディオファイルのプレイ中に使用できます。
- グループサーチは、DPX-55MD/DPX-66MDでのグループ登録済みMDのプレイ中に使用できます。
- グループサーチおよびフォルダサーチの詳細については「Help? Music Disc」（p39）をご覧ください。

ランダムプレイ

プレイ中のCD、MD、またはフォルダ内の曲をランダムな順でプレイします。



▶ RDM

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。

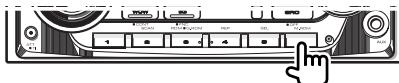


- コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- フォルダランダムプレイは、DPX-66MDでオーディオファイルのプレイ中に使用できます。
- MDランダムプレイは、DPX-55MD/DPX-66MDでMDのプレイ時に使用できます。
- MDのランダムプレイ中には、グループサーチはできません。
- ランダムプレイ中は“RDM”インジケーターが点灯します。

マガジンランダムプレイ (ディスクチェンジャーのみ)

DPX-
44DPX-
66MD

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中の曲をランダムな順でプレイします。



▶ M.RDM

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。



- コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- マガジンランダムプレイ中は“M.RDM”インジケーターが点灯します。

グループランダムプレイ (グループ登録済みMDのみ)

DPX-
55MDDPX-
66MD

グループ登録済みMDのグループ内の曲をランダムな順でプレイします。



▶ RDM

1秒押すたびに、グループランダムプレイがオン/オフされます。

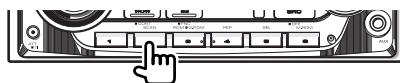


- コントロールノブを右に動かすと、次の曲をランダムに選択します。
- 「グループランダムプレイ」は「ファンクション設定」(p34)で“Group”項目が“ON”的ときに選択できます。
- グループランダムプレイ中は“RDM”インジケーターが点灯します。

スキャンプレイ

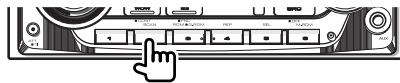
ディスクやフォルダ、グループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



▶ SCN

2 聴きたい曲のところで...



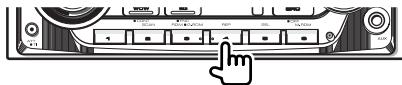
スキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。



- すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。
- スキャンプレイ中は“SCN”インジケーターが点灯します。

リピートプレイ

現在聴いている曲またはディスク/フォルダ/グループ内の曲を繰り返しプレイします。



▶ REP
押すたびに、次の順でオン/オフされます。

グループ登録済みMDプレイ中

表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
GPR REP*	グループリピートオン
(表示なし)	リピートプレイオフ

* "GRP REP" は「ファンクション設定」(p34) で "Group" 項目が "ON" のときに選択できます。

CD/MDプレイ中

表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
(表示なし)	リピートプレイオフ

オーディオファイルプレイ中

表示	状態
File REP	ファイルリピートオン
FOLD REP	フォルダリピートオン
(表示なし)	リピートプレイオフ

ディスクチェンジャープレイ中

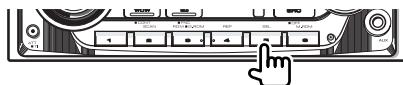
表示	状態
TRAC REP	トラックリピートオン
Disc REP	ディスクリピートオン
(表示なし)	リピートプレイオフ

フォルダセレクト (オーディオファイルのみ)

DPX-
66MD

聴きたい)オーディオファイルが入っているフォルダをすばやく選択します。

1 フォルダセレクトモードにします



▶ F KENWOOD
フォルダ名が表示されます。

2 フォルダを選びます

同一階層内でフォルダを選ぶときは



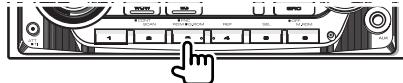
左に動かすたびに手前のフォルダへと移動し、右に動かすたびに次のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を移動するときは



上に動かすたびに1階層下へと移動し、下に動かすたびに1階層上へと移動します。

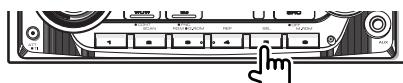
第1階層に戻るときは



3 表示中のフォルダをプレイします



フォルダセレクトを中止するときは…

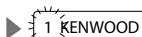
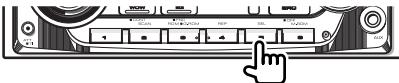


グループセレクト (グループ登録済みMDのみ)

DPX-
55MDDPX-
66MD

聴きたい曲が入っているグループ名を表示してグループを選択します。

1 グループセレクトモードにします



グループ番号とグループ名が表示されます。

2 グループを選びます



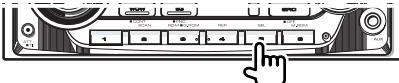
上に動かすたびに次のグループへと移動し、下に動かすたびに手前のグループへと移動します。

3 表示中のグループをプレイします



そのグループ内の最初の曲がプレイされます。

グループセレクトを中止するときは…



- グループセレクトの詳細については「Help? Music Disc」(p40) をご覧ください。
- 「グループセレクト」は「ファンクション設定」(p34) で "Group" 項目が "ON" のときに選択できます。

タイトル/テキストスクロール

タイトル/テキストをスクロールさせます。



● スクロールできるのは次のタイトル/テキストです。

- ディスクタイトル/トラックタイトル
- ディスクテキスト/トラックテキスト
- フォルダ名
- 曲名
- アルバム名
- グループ名
- ファイル名
- アーティスト名

Tape Listening (DPX-44)

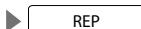
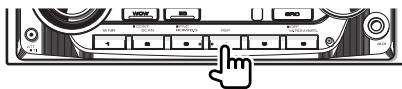
カセットテープをいろいろな機能を使ってプレイします。



- カセットテープの基本的な聴きかたは「テープを聞く (DPX-44)」(p16) をご覧ください。

リピートプレイ

現在の曲を繰り返しプレイします。



REP

押すたびに、リピートプレイがオン/オフします。

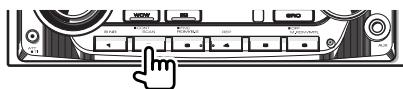


- リピートプレイするためには、曲間に4秒以上の無録音部分が必要です。

インデックススキャンプレイ

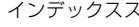
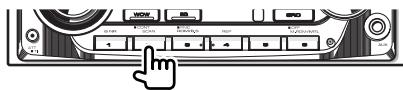
テープ内の各曲の先頭部分を10秒ずつプレイして曲を探すことができます。

1 インデックススキャンプレイを開始します



SCN

2 聴きたい曲のところで...



インデックススキャンプレイが終了し、その曲からプレイされます。



- インデックススキャンプレイするためには、曲間に4秒以上の無録音部分が必要です。

DPSS (ダイレクトプログラムサーチシステム)

先の曲や前の曲を飛び越し選曲します。



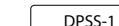
DPSS+1

(次の曲)



DPSS-0

(曲の先頭)

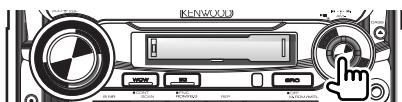


DPSS-1

(前の曲)

連続して動かすと、9曲まで飛び越し選曲できます。

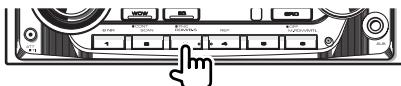
途中で中止するときは



- DPSSプレイするためには、曲間に4秒間以上の無録音部分が必要です。

ブランクスキップ

10秒以上続く無録音部分を早送りします。

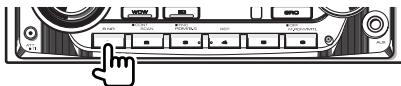


▶ B.S

押すたびに、ブランクスキップがオン/オフします。

ドルビーB NRシステム

ドルビーB NRシステムをオン/オフします。



▶ B NR

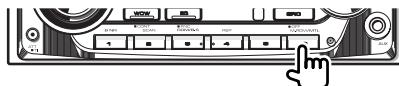
押すたびに、ドルビーB NRシステムがオン/オフします。



- ドルビーB NRシステムを使用しているテープをプレイするときは、オンにします。

テープポジションセレクター

テープポジションの設定をします。



▶ MTL

押すたびに、メタルポジションセレクターがオン/オフします。



- メタルテープ (Type IV)、フェリクロムテープ (Type III)、およびクロムテープ (Type II) をプレイするときは、メタルポジションセレクターをオンにしてください。

Radio Listening

FM/AM放送を受信します。また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。



- FM/AM放送の基本的な聴きかたは「ラジオを聴く」(p17)をご覧ください。

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます



2 ファンクションセットモードにします



▶ Function

3 オートメモリー項目を選択します



4 オートメモリーを開始します



周波数表示が次々と変わるので押し続けます。



- 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

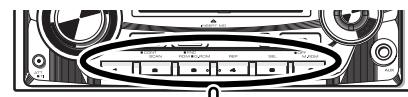
1 バンドを選びます



2 放送局を選びます



3 メモリーするキー(1~6のいずれか)を選択します



▶ 1 ↴ F2:78.0

チャンネルナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

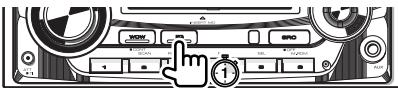


- オートメモリーではメモリーされない放送局をメモリーしたいときなどに便利です。

チューニングモード

選局するときのチューニングモードを設定します。

1 ファンクションセットモードにします



▶ Function

2 チューニングモードの項目を選択します



Auto1

Auto2

Manual

3 チューニングモードを選びます



チューニングモードには、次の3種類があります。

表示	設定内容
Auto1	受信状態の良い放送局を受信します。(オート1)
Auto2	メモリーされている放送局を受信します。(オート2)
Manual	受信する周波数を1ステップずつアップ/ダウンします。(マニュアル)

4 ファンクションセットモードを終了します

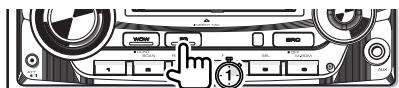


- チューニングモードがオート1のときは **AUTO** と **1** インジケーター、オート2のときは **AUTO** と **2** インジケーターが点灯します。マニュアルモードのときにはインジケーターは消灯します。

モノラルモード (FM放送受信時のみ)

FMステレオ放送の受信状態が良くないときにモノラルモードにすると、ノイズが軽減されて聴きやすくなる場合があります。

1 ファンクションセットモードにします



▶ Function

2 モノラルモードの項目を選択します



▶ MONO

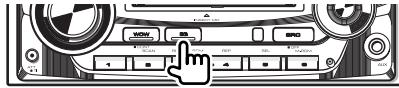
3 モノラルモードをオン/オフします



MONO ON

MONO OFF

4 ファンクションセットモードを終了します



- モノラルモードをオンにすると **MONO** インジケーターが点灯します。

Name Set

FM/AM放送局、本機内蔵のCDプレーヤーまたは別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。また、AUX入力に付ける名前を選択することができます。

DNPS (ディスクネームプリセット)/ SNPS (ステーションネームプリセット)

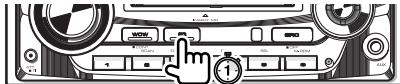
CDやFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます



- MDやオーディオファイルのメディアにDNPSを行うことはできません。
- マガジンランダムプレイ中はDNPSは行えません。マガジンランダムプレイ以外を選択しておいてください。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。

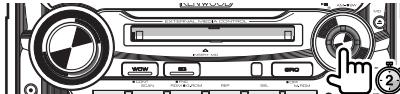
2 ファンクションセットモードにします



3 ネームプリセットの項目を選択します

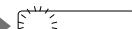
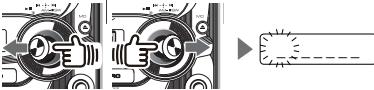


4 DNPS/SNPSを開始します

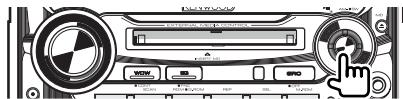


ネームセットの画面に切り替わるまで押し続けます。

5 文字を入力する位置にカーソルを移動します



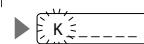
6 文字の種類を選びます



押すたびに、次の順で切り替わります。

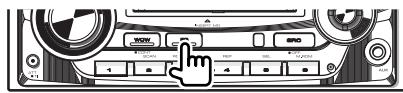
表示	設定内容
A	英大文字
a	英小文字
ア	カタカナ

7 文字を選びます



8 手順5~7を繰り返して、すべての文字を入力します

9 DNPS/SNPSを終了します

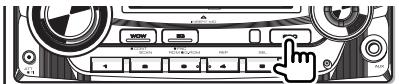


- 10秒以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前は8文字まで登録できます。
- CDは、トラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別されません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局とAM放送局の合計で30局です。
- DNPSは、本機内蔵プレーヤーで10枚まで登録できます。別売のCDチェンジャー/CDプレーヤーで登録できる枚数は、その取扱説明書をご覧ください。
- バッテリーから本機を外すとDNPS/SNPSは消去されます。

AUXネームセレクト

ソースをAUXに切り替えたときに表示される名前（AUXネーム）を設定します。

1 AUXソースに切り替えます



▶ AUX / AUX EXT

2 ファンクションセットモードにします



▶ Function

3 ネームプリセットの項目を選択します



▶ Name Set

4 AUXネーム選択を開始します



▶ ****

現在のAUXネームが表示されるまで押し続けます。

5 名前を選びます



左右に動かすたびに、次の順で名前が表示されます。

表示

TV

VIDEO

GAME

PORTABLE

DVD

AUX/AUX EXT

6 AUXネーム選択を終了します



- 10秒以上何も操作しないと、AUXネーム選択は自動的に終了します。
- AUXネームを設定できるのは、内蔵AUXまたは別売品のKCA-S220Aを使用した外部AUXのみです。

Audio Control

音響効果などを設定します。

オーディオコントロールの詳細設定

オーディオコントロールでは次の項目を設定できます。

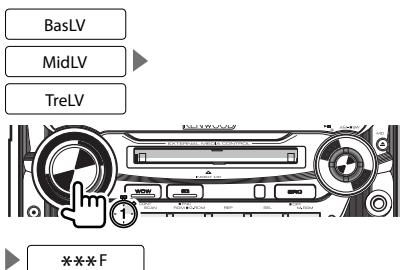
表示	設定内容
R-VOL	リアスピーカーの音量を調整します。
SubW	サブウーファーの音量を調整します。 (DPX-66MDのみ)
BasLV	低音域の音量を調整します。
MidLV	中音域の音量を調整します。
TreLV	高音域の音量を調整します。
BAL	左右の音量バランスを調整します。
FAD	前後の音量バランスを調整します。
(通常の表示)	



- 設定方法は「音質などを調整します」(p13)をご覧ください。
- 低音域、中音域、高音域の設定は、ソースごとに設定できます。
- “R-VOL”は、デュアルゾーン機能がオンに設定されているときに設定できます。デュアルゾーン機能については「オーディオセットアップ」(p29)をご覧ください。
- “SubW”は、ファンクション設定で“SWPRE”が“SW”(サブウーファー)に設定されているときに調整できます。“SWPRE”的設定については「ファンクション設定」(p34)をご覧ください。

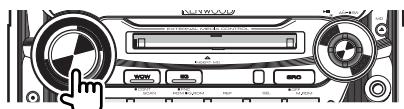
さらに、低音、中音、高音の調整をきめ細かく設定できます。

1 詳細設定を開始します



“***F”と表示されるまで押し続けます。

2 調整する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。

“BasLV”で押したとき

表示	設定内容
BasF	調整する低音域の中心周波数
BasQ	低音クオリティーファクター
B EX	低音中心周波数伸張

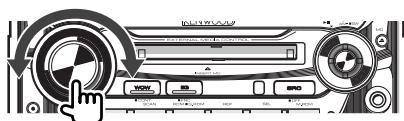
“MidLV”で押したとき

表示	設定内容
MidF	調整する中音域の中心周波数
MidQ	中音クオリティーファクター

“TreLV”で押したとき

表示	設定内容
TreF	調整する高音域の中心周波数

3 各項目を調整します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
BasF	40/50/60/70/80/100/120/150 (Hz)
BasQ	1.00/1.25/1.50/2.00
B EX	ON/OFF
MidF	0.5/1.0/1.5/2.0 (kHz)
MidQ	1.00/2.00
TreF	10.0/12.5/15.0/17.5 (kHz)

4 詳細設定を終了します



- 各調整項目についての「Help? Term」(p42)をご覧ください。

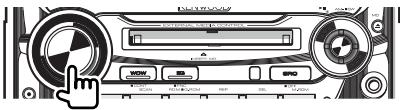
オーディオセットアップ

音量オフセットやデュアルゾーン機能などを設定します。

1 オーディオセットアップを開始します



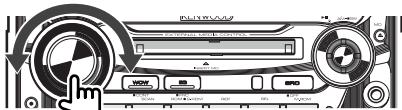
2 設定する項目を選びます



押すたびに、次の順に切り替わります。

項目	設定内容
HPF	フロントのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
HPR	リアのハイパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
LPF	ローパスフィルターのカットオフ周波数を設定します。
SW Phase	サブウーファーの位相を設定します。
V-OFF	各ソースごとの、音量の差を調整します。
2 ZON	デュアルゾーン機能のオン/オフを設定します。

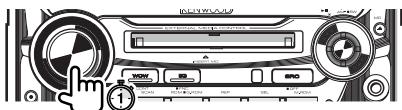
3 各項目を設定します



各項目の設定範囲は次のとおりです。

項目	設定範囲
HPF/HPR	THRU(フィルターオフ) /40/60/80/100/120/150 /180/220(Hz)
LPF	50/60/80/100/120(Hz) /THRU(フィルターオフ)
Phase	Normal(0°)/Reverse(180°)
V-OFF	0 ~ -8 (AUX : +8 ~ -8)
2 ZON	ON/OFF

4 オーディオセットアップを終了します

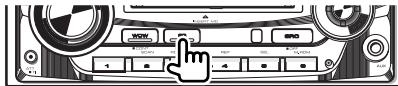


- “V-OFF”でソースごとに音量オフセットを設定しておくと、ソースを切り替えてもほぼ同じ音量で聴くことができます。
- “2 ZON”を“ON”に設定しているときは、“HPE”、“HPR”、“LPF”、「オーディオコントロールの詳細設定」(p28)の“SubW”、および「SRS WOWコントロール設定」(p31)の各項目は設定できません。
- デュアルゾーン機能を使うと、本機でプレイするソースとAUXに入力された音声を前後のスピーカーから別々に出力できます。
- “LPF”および“SW Phase”は、ファンクション設定で“SWPRE”が“SW”(サブウーファー)に設定されているときに設定できます。“SWPRE”的設定については「ファンクション設定」(p34)をご覧ください。
- “SW Phase”は“LPF”が“THRU”に設定されているときは調整できません。

イコライザーカーブの呼び出しと調整

プレイする曲に合わせて、イコライザーカーブを呼び出します。また、呼び出したイコライザーカーブを調整します。

1 イコライザーカーブを呼び出します



押すたびに、次の順に切り替わります。

表示	設定内容
NATURAL	ナチュラル
USER	ユーザー設定
ROCK	ロック
VOCAL	ボーカル
EASY	イージー
DANCE	ダンス
JAZZ	ジャズ

2 調整します

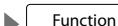
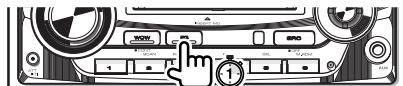


- イコライザーカーブの呼び出しは、スタンバイモード以外で行ってください。
- イコライザーカーブの調整は、イコライザーカーブ名が表示されているときに行ってください。
- "NATURAL" を選択したときには、手順2での調整はできません。
- "USER" の内容は、ユーザーのオーディオコントロールの設定です。オーディオコントロールの内容と設定方法については「音質などを調整します」(p13)をご覧ください。

デュアルゾーン設定

デュアルゾーン機能がオンに設定されているときのAUX入力音声(サブソース)の出力先(フロント/リア)を設定します。

1 ファンクションセットモードにします



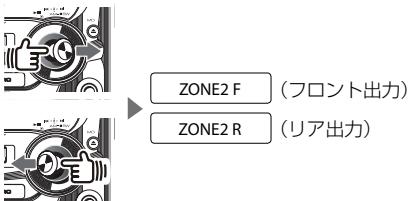
Function

2 デュアルゾーン設定を表示します



ZONE2

3 出力先を選択します



ZONE2 F (フロント出力)

ZONE2 R (リア出力)

4 デュアルゾーン設定を終了します



- 上記の操作の前に、デュアルゾーン機能をオンにしてください。詳しくは「オーディオセットアップ」(p29)をご覧ください。
- メインソースは **SRC** キーで切り替えます。
- デュアルゾーン時には、本設定にかかわらず、フロントスピーカーの音量はボリュームノブで調整します。また、リアスピーカーの音量は「オーディオコントロールの詳細設定」(p29)の "R-VOL" で調整します。
- オーディオコントロールの各種の設定は、サブソースに対しては無効です。

サブウーファー出力コントロール

サブウーファー出力のオン/オフを設定します。



SubW ON (サブウーファー
オン)
SubW OFF (サブウーファー
オフ)

“SubW ON”または“SubW OFF”が表示されるまで押し続けます。



- デュアルゾーン機能がオンになっているときには設定できません。
- サブウーファーのオン/オフは、ファンクション設定の“SWPRE”項目が“SW”(サブウーファー)に設定されているときに設定できます。

SRS WOWコントロール選択

SRS WOWの設定を呼び出して、迫力のある重低音を付加したり、車内に立体的な音場を作り出します。



押すたびに、次の順に切り替わります。

表示

WOW Low
WOW High
WOW User
WOW Off



- SRS WOWの詳しい機能説明については、「Help? Term」(p43)をご覧ください。
- 各設定の内容は次のとおりです。

SRS WOW	SRS 3D	Focus	TruBass
Low	ON	Focus1	ON
High	ON	Focus2	ON
User	「SRS WOWコントロール設定」(p31) での設定		
Off	OFF	Focus0	OFF

- 3秒以上も操作しないと、SRS WOWコントロール選択は終了します。
- SRS WOWを呼び出すと、リア側のオーディオコントロールの設定はいったん解除され、フラットになります。

SRS WOWコントロール設定

SRS WOWのユーザー設定を登録します。

1 WOWコントロールモードにします



2 設定する項目を選択します



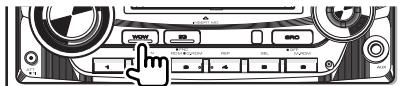
3 値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

表示	設定値
SRS (奥行き感の設定)	ON/OFF
FOCUS (音像移動の設定)	0/1/2
TB (低音部の強調設定)	ON/OFF

4 WOWコントロールモードを終了します



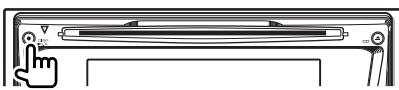
- SRS WOWの詳細については、「Help? Term」(p43)をご覧ください。
- ここで設定した値は、SRS WOWの項目“User”的値となり、「SRS WOWコントロール選択」(p31)で呼び出せます。
- SRSは、Tunerモードまたは交通情報受信中には設定できません。

Display Control

ディスプレイに表示する情報を設定します。

ディスプレイ表示切り替え

ディスプレイに表示される情報を切り替えます。



押すたびに、次の順に切り替わります。

STANDBY時

設定内容

キャラクター&グラフィック

時計&グラフィック

時計

FM/AM受信、交通情報受信時

設定内容

周波数

SNPS*1

キャラクター

時計

CDプレイ時

設定内容

トラック演奏時間

DNPS*2

ディスクタイトル (DPX-66MDのみ)*3

トラックタイトル (DPX-66MDのみ)*3

キャラクター

時計

MDプレイ時(DPX-55MD/66MD)

設定内容

トラック演奏時間

ディスクタイトル*3

グループネーム*3 (グループ登録済み MD)

トラックタイトル*3

キャラクター

時計

オーディオファイルプレイ時(DPX-66MD)

設定内容

ファイル演奏時間

フォルダ名

ファイル名

曲名＆アーティスト名

アルバム名*4

キャラクター

時計

テーププレイ時(DPX-44)

設定内容

テープカウンター

キャラクター

時計

ディスクチェンジャープレイ時 (DPX-44/DPX-66MD)

設定内容

トラック演奏時間

DNPS*2

ディスクタイトル*3/ディスクテキスト
(対応機種を接続時のみ)

トラックタイトル*3/トラックテキスト
(対応機種を接続時のみ)

キャラクター (対応機種を接続時のみ)

時計

AUX/AUX EXT時

設定内容

AUX ネーム

キャラクター

時計

*1 SNPSが登録されていないと周波数が表示されます。

*2 DNPSが登録されていないと "No Name" が表示されます。

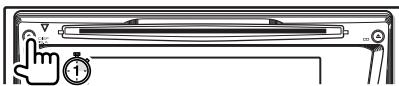
*3 ディスクタイトル/グループネーム/トラックタイトル
が登録されていないと演奏時間が表示されます。

*4 WMAファイルのプレイ中にアルバム名を選択する
と、演奏時間が表示されます。

スペアナ切り替え

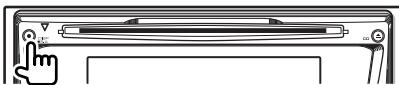
グラフィックに表示するスペアナ（スペクトラムアナライザー）表示を選択します。

1 スペアナ選択モードにします



- STANDBYモード中は切り替えできません。

2 スペアナを切り替えます



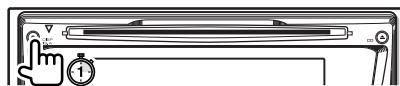
押すたびに、次の順に切り替わります。

表示	設定内容
S.A Scan	スペアナスキャン
PeakHold	ピークホールド
SPANA 1	スペアナ 1
SPANA 2	スペアナ 2
SPANA 3	スペアナ 3
SPANA 4	スペアナ 4
SPANA 5	スペアナ 5
SPANA 6	スペアナ 6
SPANA 7	スペアナ 7
S.A OFF	スペアナオフ



- “S.A Scan”では、“PeakHold”から“SPANA7”までを次々に表示します。

3 スペアナ選択モードを終了します



- 10秒以上何も操作しないと、スペアナ選択モードは自動的に終了します。

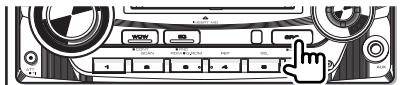
Function Control

各種の機能を設定します。

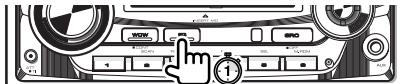
ファンクション設定

各ソースごとに、各種の機能を設定します。

1 ソースを切り替えます



2 ファンクションセットモードにします



▶ Function

3 設定する項目を選択します



表示される項目は、ソースによって異なります。

4 各項目を設定します



- 参照ページ番号が記載されている項目の設定方法は、それぞれのページをご覧ください。
- 各項目の詳細については、「Help? Term」(p43) をご覧ください。

表示	設定	設定概要	ソース
BEEP	ON*/OFF	操作音のオン／オフを設定します。	SB
CONT	1~11	ディスプレイのコントラストを設定します。	SB
CLK ADJ	p38参照	時刻を設定します。	SB
SWPRE	SW/R*	プリアウトの出力を設定します。(DPX-66MDのみ)	SB
Group	ON/OFF*	MDグループの管理機能のオン／オフを設定します。(DPX-55MD/66MDのみ)	SB
Open	ON*/OFF	オープニング表示のオン／オフを設定します。	SB
AMP	ON*/OFF	本機の内蔵アンプのオン／オフを設定します。(DPX-66MDのみ)	SB
GUID	ATT/OFF*	接続されているナビの音声ガイドの出力を設定します。	SB
ZONE2	F/R*	デュアルゾーン機能オン時のAUX入力音声の出力先を設定します。	SB以外
MONO	OFF*/ON p25参照	モノラルで受信します。	Tuner
Name Set	p26参照	放送局名(SNPS)/ディスク名(DNPS)/AUXネームを設定します。	CD AUX
SCL	Auto*/ Manu	テキストスクロールを設定します。	
AUX	OFF*/ON	内蔵AUXの入力のオン／オフを設定します。	SB
CD READ	1*/2	CDの読み取りモードを設定します。(DPX-66MDのみ)	SB
S.I	ON*/OFF	セキュリティインジケーターのオン／オフを設定します。	SB
CODE SET/ CLR	p36/p37 参照	セキュリティコードを設定／解除します。	SB

表示	設定	設定概要	ソース
Auto	Auto1*/ Auto2/ Manu p25参照	チューニングモードを設定します。	Tuner
A-memory	p24参照	放送局を自動的にプリセットします。	Tuner
SPRM	ON*/OFF	Supreme機能のオン／オフを設定します。 (DPX-66MDのみ)	CD

* お買い上げ時の設定状態を示します。

SB : スタンバイ中に設定できます。

SB_{av} : スタンバイ以外のときに設定できます。

Tuner : Tunerソース中に設定できます。

CD : CD/オーディオファイルソース中に設定できます。

AUX : AUXソース中に設定できます。



- "Zone2" は、「オーディオセットアップ」(p29) の、"2 ZON" が "ON" に設定されているときに表示されます。
- "MONO" はFM放送の受信中に表示されます。
- "SPRM" (Supreme機能) は、DPX-66MDでオーディオファイルをプレイ中のみ表示されます。Supreme機能の詳細は「Help? Term」(p44) をご覧ください。
- AUXソースを使用しないときは、"AUX" は "OFF" のままに設定しておいてください。
- セキュリティコードが設定されているときは、"CODE SET" のかわりに "CODE CLR" (セキュリティコード消去) が表示されます。

5 ファンクションセットモードを終了します



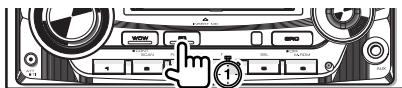
セキュリティコードの設定

暗証番号を設定して、盗難を抑制します。



- 設定したセキュリティコードの変更・解除には、セキュリティコードが必要です。セキュリティコードは必ずメモしておくことをお勧めします。

1 ファンクションセットモードにします



▶ Function

2 セキュリティコードセットの項目を選択します



▶ CODE SET

3 セキュリティコードセットを開始します



▶ ENTER ▶ CODE ----

“ENTER”と表示されるまで押し続けます。

4 セキュリティコードを入力します

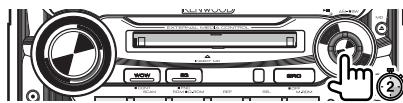
入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



5 決定します



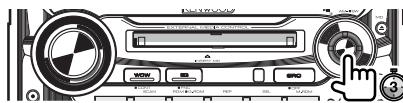
▶ RE-ENTER ▶ CODE ----

“RE-ENTER”と表示されるまで押し続けます。

6 もう一度入力します

手順4と同じ方法で、同じセキュリティコードを入力します。

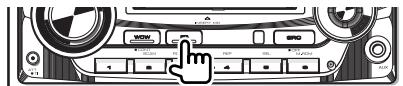
7 決定します



▶ APPROVED

“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。

8 セキュリティコードセットを終了します

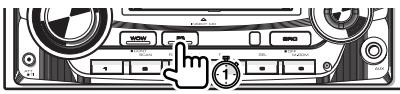


- 手順6で入力したセキュリティコードが手順4で入力したセキュリティコードと異なる場合は、手順4からやりなおすことになります。
- セキュリティコードが設定されると、リセットボタンを押したときやバッテリーの接続を切った場合にセキュリティコードの入力が必要となります。詳しくは、「セキュリティコードの入力」(p37)をご覧ください。
- セキュリティコードの設定は、スタンバイモードで操作してください。

セキュリティコードのクリア

セキュリティコードの設定を解除します。

1 ファンクションセットモードにします



▶ Function

2 セキュリティコードクリアの項目を選択します



▶ CODE CLR

3 セキュリティコードクリアを開始します



▶ ENTER

▶ CODE ----

“ENTER”と表示されるまで押し続けます。

4 セキュリティコードを入力します

入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



「セキュリティコードの設定」(p36)で設定したセキュリティコードを入力します。

5 決定します



▶ CLEAR

“CLEAR”と表示されるまで押し続けます。

6 セキュリティコードクリアを終了します



- 入力したセキュリティコードが間違っていると“ERROR”と表示されます。再度手順4からの操作を行って正しいコードを入力してください。

セキュリティコードの入力

セキュリティコードが設定されている場合、リセットボタンを押した後や本機をバッテリーから外した後で初めて使うときには、電源をオンにするためにセキュリティコードを入力する必要があります。

1 セキュリティコードを入力します

入力する桁を選択するには



入力する数字を選択するには



2 決定します



▶ APPROVED

“APPROVED”と表示されるまで押し続けます。



- 入力したセキュリティコードが間違っていると“ERROR”と表示され、電源がオフになります。このようなときは、**SAC**キーを押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。

- 本機はセキュリティコード機能の他にS.I.（セキュリティインジケーター）機能を採用しています。「ファンクション設定」(p34)の“S.I.”項目を“ON”にしておくと、ACCをオフにしたときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。

時刻合わせ

本機の時計を合わせます。

1 ファンクションセットモードにします



▶ Function

2 時刻合わせの項目を選択します



CLK ADJ

3 時刻合わせを開始します



▶ ☰ AM 12:00

時計表示になるまで押し続けます。

4 “時”を調整します



5 “分”を調整します



6 時刻合わせを終了します



- 時刻合わせは、スタンバイモードで操作してください。
- 時計は12時間制で、AM/PMは自動的に切り替わります。
- “分”を調整したときには、時計合わせ終了時に00秒からスタートします。

オーディオファイル

DPX-66MDでは、以下のオーディオファイルがプレイできます。

プレイできるオーディオファイル

AAC-LC (.m4a), MP3 (.mp3), WMA (.wma)

プレイできるメディア

CD-R/ CD-RW, CD-ROM

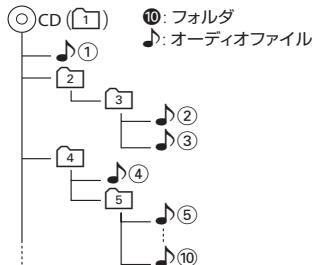
プレイできるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/2, Joliet, Romeo, Long file name

上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。

オーディオファイルのプレイする順番

下記のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでは①から⑩の順にプレイされます。



オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/audiofile/で公開しています。オンラインマニュアルには、本書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。本書とあわせて必ずお読みください。

MD Group

本機では、グループ化されたMD（グループ登録済みMD）からグループを選んで、聴きたい曲をすばやく選べるグループ管理機能を搭載しています。

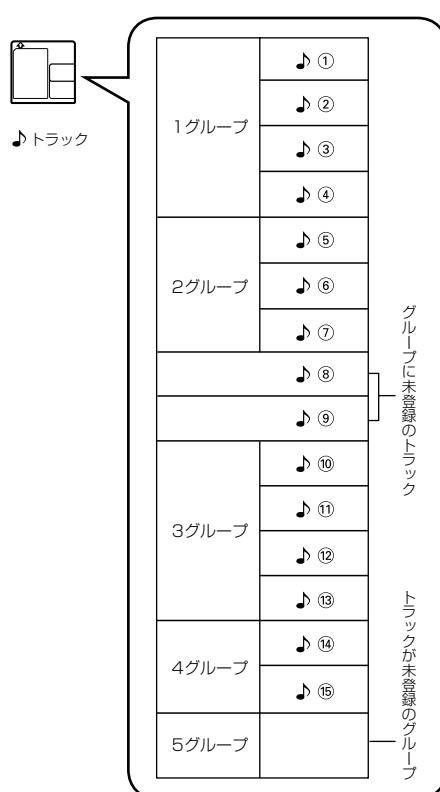
最大再生可能グループ数

本機で再生できるグループ数は50番目までです。51番目以降に登録されているグループは再生できません。

グループ登録された曲を再生する順番

下記のようなグループで作成されたMDでトラックサーチ、グループサーチ、およびグループセレクトを行った場合は次のようにになります。

なお、MDグループ管理機能は「ファンクション設定」(p34) の“Group”項目を“ON”に設定しているときに使用できます。



- MDグループ管理機能を“ON”に設定していると、グループに登録していないトラックは再生されません。グループ管理機能を“OFF”に設定すると、すべての曲を聞くことができます。
- トラックが登録されていないグループは、グループサーチやグループセレクトでは選択できません。

♪⑥再生中にトラックサーチを行うと...

♪⑥の先頭→♪⑥→♪④	♪⑦→♪⑩→♪⑪...

♪⑩再生中にグループサーチを行うと...

3グループ→2グループ→1グループ...	3グループ→4グループ→1グループ

♪⑩再生中にグループセレクトを行うと...

4グループ→3グループ	1グループ→2グループ→3グループ



- グループセレクトは常に1グループ目を基準にして開始されます。
- 上記の説明は、説明の都合上、コントロールノブを下に2回押して3グループ目を選択してからの操作例を示しています。
- MDの作成方法はグループ機能を搭載した編集機などの取扱説明書をご覧ください。

共通

？ チューナーの感度が悪い

- ✓ 自動車のアンテナが伸びていない。
- ➡ アンテナを十分に伸ばしてください。
- ✓ アンテナコントロール電源が接続されていない。
- ➡ 「接続」 (p50) を参照して正しく接続し直してください。
- ✓ アンテナ入力がきちんと接続されていない。
- ➡ アンテナ入力を確実に接続してください。

ミュージックディスク

？ CDやオーディオファイルをプレイできない

- ✓ CDやオーディオファイルディスクが異常に汚れている。
- ➡ 「メディアの取り扱い」 (p10) を見て、ディスクをクリーニングしてください。

オーディオファイル

？ オーディオファイルがプレイできない

- ✓ ディスクに傷や汚れがある。
- ➡ 「メディアの取り扱い」 (p10) を見て、ディスクをクリーニングしてください。

？ 演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

- ✓ オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

カセットテープ

？ テープでDPSS、リピート、インデックススキップできない、目的の位置で止まらない

- ✓ 曲間の無録音部分が短すぎる。
- ➡ 曲間に無録音部分を4秒以上入れてください。

？ 曲の途中で早送りされる

- ✓ 録音レベルの低い部分が10秒以上ある。
- ➡ ブランクスキップをオフにしてください (p23)。

？ ブランクスキップされない

- ✓ 無録音部分の雑音が大きい。
- ➡ 雑音が小さくなるように録音してください。

共通

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。使用できる AAC 収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p39) をご覧ください。

MDLP (エムディーエルピー)

MD の記録方式の規格です。本機では MDLP2 モードと MDLP4 モードで録音された MD をプレイできます。

MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG Audio は DVD や Video CD などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。

使用できる MP3 収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p39) をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。

使用できる WMA 収録メディアの種類やフォーマットなどは「オーディオファイル」(p39) をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品の CD チェンジャー (KDC-C520、KDC-C510、KDC-C406 など)、マルチメディアプレーヤー (VD-C77) です。

オーディオコントロール

R-VOL (リアボリューム)

デュアルゾーン機能を使用しているときのリアスピーカーの音量を調整します。

SubW (サブウーファー音量)

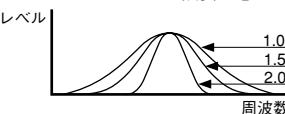
サブウーファーの音量を調整します。

BasF/MidF/TreF (バスフリケンシィ/ミドルフリケンシィ/トレブルフリケンシィ)

低音、中音、高音を調整する周波数（中心周波数）を設定します。

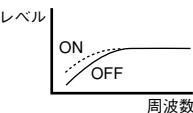
BasQ/MidQ (バスコリティーファクタ/ミドルコリティーファクタ)

低音と中音の調整スロープを設定します。値が大きくなるほどスロープの傾斜が急になります。



B EX (バスエキステンデッド)

「ON」に設定すると、低音中心周波数を低域側に約 20% 伸びた状態にします。



HPF (ハイパスフィルター)

設定された周波数（カットオフ周波数）よりも低い成分をカットします。

プリアウトをサブウーファーように使用するときに、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。

「THRU」に設定すると、この機能をオフにできます。本機では、ハイパスフィルターをフロントスピーカー (HPF) とリアスピーカー (HPR) に独立して設定できます。

LPF (ローパスフィルター)

設定された周波数（カットオフ周波数）よりも高い成分をカットします。

プリアウトをサブウーファー用に使用するときに、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。

「THRU」に設定すると、この機能をオフにできます。

SW Phase (サブウーファフェイズ)

サブウーファーの位相（正相 / 逆相）を設定します。

V-OFF (ボリュームオフセット)

各ソースごとの音量の差を調整します。

これにより、ソースを切り替えると、ほぼ同じ音量で聞くことができます。

2 ZON (デュアルゾーン)

デュアルゾーン機能とは、メインソースとサブソース (AUX 入力) をフロントスピーカーとリアスピーカーに振り分けて出力する機能です。この機能のオン / オフを設定します。

SRS WOW

本機では、米国SRS社のWOW回路により、サウンドに大迫力の重低音を付加したり、立体的な音場にして再生することができます。

SRS WOW の効果は、「SRS WOW コントロール選択」(p31) で設定することができます。

TB : “On”に設定するとバランスのとれた重低音を再現することができます。

FOCUS : 擬似的にスピーカーの位置を2段上 (“High”) または1段上 (“Low”) を選択して音像の移動と輪郭を調節します。

SRS : “On”に設定すると奥行き感のある立体的な音場することができます。

SRS WOW : “TruBass”、“Focus” および “SRS 3D” の値を一括で設定することができます。

SRS WOW	FOCUS	TB	SRS
LOW	LOW	On	On
HIGH	HIGH	On	On
OFF	Off	Off	Off

Function

ZONE2 (ゾーン2)

デュアルゾーン機能がオンのときのサブソース (AUX 入力) の出力先 (フロントスピーカーまたはリアスピーカー) を設定します。

MONO (モノラル)

この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。

受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなることがあります。

Name Set (ネームセット)

Tuner モードでは、放送局に名前を付けます (SNPS)。CD モードでは、ディスクに名前を付けます (DNPS)。

SCL (スクロール)

ディスプレイにディスク / トラックタイトル、ディスク / トラックテキスト、グループタイトル、フォルダーネーム、ファイルネーム、曲名 / アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくとスクロール表示を繰り返し行い、“Manu”に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

チューニングモード

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1: 放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2: メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manu: 1ステップずつ周波数が変わります。

A-Memory (オートメモリ)

受信状態の良い放送局を自動的にプリセットキーにメモリーします。

▼ SPRM (サプリーム)

低いビットレート (96Kbps (fs=32k, 44.1k, 48kHz) 以上) でエンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。補完は圧縮フォーマット (AAC, MP3、または WMA) 別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。

なお、96kbps(fs=32k, 44.1k, 48kHz) よりも高いビットレートでエンコードされている曲や可変ビットレートでエンコードされている曲、高域の音が少ない曲では効果が表れ難い場合があります。

BEEP (ビープ)

キーを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離したときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“OFF”に設定することにより消すことができます。

なお、ビープ音はプリアウトからは出力されません。

CONT (コントラスト)

ディスプレイのコントラストを調整します。

取り付け位置によってはディスプレイの文字が見えにくい場合があります。このようなときに調整してください。

CLK ADJ (クロックアジャストメント)

本機内蔵の時計の時刻を合わせます。

SWPRE (リアプリアウト)

リアプリアウト (DPX-66MDのみ) をサブウーファー用出力 ("SW") に切り替えます。

Group (グループ)

MD グループ管理機能をオン / オフします。

この機能をオンにすると、グループ登録済み MD をプレイしているときに、グループサーチ、グループリピート、グループランダムプレイ、およびグループセレクト機能を使用できます。

ただし、この機能がオンのときには、グループに登録されていない曲はプレイできません。そのような曲をプレイするときには、この機能をオフにしてください。

Open (オープニング画面)

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

▼ AMP (内蔵アンプ出力)

内蔵アンプの出力をオン/オフします(DPX-66MDのみ)。

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“OFF”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクオリティーをアップさせることができます。

GUID (ナビガイド)

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。

“ATT”に設定すると、ナビ音声ガイド時にオーディオの音が小さくなります。

この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

AUX (内部AUX入力)

AUX端子は、ビデオ/ナビなどの外部機器の音声を本機に入力する端子です。

この機能は、内部AUX端子への音声入力をオン/オフします。

この機能をオンにすると、AUX端子から入力された音声は、AUXソースに切り替えることにより、本機で聴くことができます。

また、デュアルゾーン機能を使って、他のソースと同時に出力することもできます。

使用しないときはオフにしておいてください。

▼ CD READ (CDリード)

CDの読み込み方法を設定します (DPX-66MDのみ)。特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとオーディオファイルのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。

1：ディスクのプレイ時にオーディオファイルのディスクと音楽CDを自動的に識別します。

2：音楽CDとして強制的にプレイします。

S.I (セキュリティインジケーター)

セキュリティインジケーターをオン/オフします。

セキュリティインジケーターとは、本機の電源がオフのときに盗難防止警告ランプのように点滅するLEDです。



CODE SET (コードセット) / CODE CLR (コードクリア)

セキュリティコードを設定/解除します。

セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

Error 04 :

- ディスクが異常に汚れています。
- ディスクに傷が多く付いています。
- ディスクが裏返しになっています。

Error 05 :

ディスクが裏返しです。

Error 12 :

プレイしようとした MD はデータ用 MD です。

Eject :

- ディスクマガジンがセットされていません。
- ディスクマガジンが完全に入っています。
- など

No Disc :

ディスクマガジンにディスクが 1 枚も入っていません。

No Name :

ディスクネームプリセットされていないディスクをプレイ中に、ディスク名表示にしようとした。

No Track :

プレイしようとした MD には何も録音されていません。

Blank :

プレイしようとした MD にはデータが 1 つも記録されていません。

N/A File :

サポートされていないフォーマットのオーディオファイルをプレイしようとした。

Copy PRO :

プレイしようとしたオーディオファイルは、コピーブロテクトされています。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

Error 77 :

何らかの原因で正常に動作していない。

- 本機のリセットボタンを押してください。“Error 77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

Hold :

本機の MD プレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が 60°C 以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。

- 本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げるから使用してください。

Error 99 :

何らかの原因で正常に動作していない。

- イジェクトキーを押してください。イジェクトキーを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

④インジケーターが点滅 :

CD プレーヤーが正常に動作していない。

- CDを取り出してから、CD を入れなおしてください。

④インジケーターが点滅 :

演奏しようとした MD に何も録音されていない。

- 録音された MD に入れ替えてください。
- MD プレーヤーが正常に動作していない。
- MD を取り出してから、MD を入れなおしてください。

④インジケーターが点滅 :

カセットテーププレーヤーが正常に動作していない。

- カセットテープを取り出してから、カセットテープを入れなおしてください。

Load (点滅) :

ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

Reading :

ディスクに収録されているデータのチェック中です。

PROTECT :

スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したために、保護回路が働きました。

- スピーカーコードを適切に配線 / 絶縁しなおしてから、リセットボタンを押してください。

TOC Error :

CD が異常に汚れている、裏返しで入っている、または CD に傷が多く付いている。

- CD をきれいにし、正しい向きで入れなおしてください。

Help?

取り付け時のご注意

警告



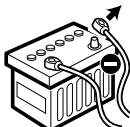
禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12Vのアース車専用です。



実施

配線作業中は、バッテリーの \ominus 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。



実施

本製品を取り付けるときには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起るおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



禁止

車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。





禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。



実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本製品ヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。

また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本製品との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。

車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。



実施

電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。



注意

車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドライト、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。



実施

事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



注意

本製品を使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

接続

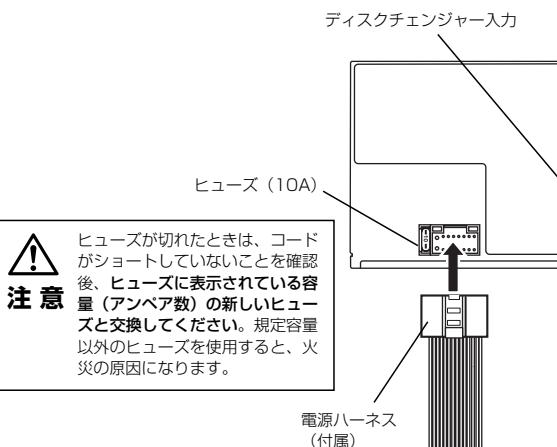


実施

初めてエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの \ominus 端子を外してください。

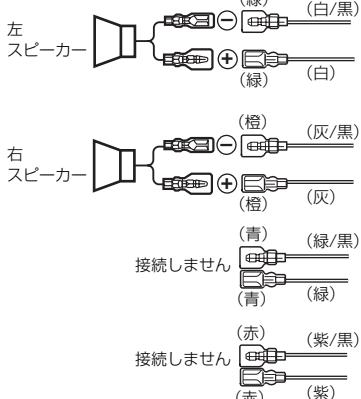
1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの \ominus 端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン（p8）を押します。

- 別売品のディスクチェンジャーにO-N-Sイッチが付いている場合は、“N”に設定してください。
- 別売品のKCA-S220Aを接続する場合は、KCA-S220A付属の取扱説明書で“Bユニット”項目を参照してください。

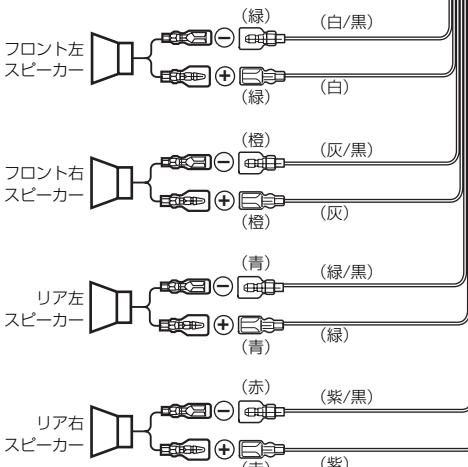


注意
ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



注意
接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。

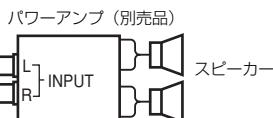


注意
●スピーカーコードの \oplus \ominus 端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
●複数のスピーカーコードの \ominus 端子を共通にして接続しないでください。

リア出力/
サブウーファー出力

プリアウト出力にサブウーファーを接続する場合は、「ファンクション設定」(p34) を参照して、「SWPRE」項目を「SW」に設定してください。

DPX-66MD のみ



DPX-44/DPX-66MD のみ

詳しい接続のしかたは
ディスクチェンジャーに付属の取扱説明書を
ご覧ください。

アンテナコントロール (青)
ANT CONT

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナ
のブースターアンプの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール (青/白)
P.CONT

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

ミュート入力 (茶)
MUTE

ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。



ミュート入力 (茶) をケンウッド製以外のカーナビ
ゲーションシステムに接続すると誤動作する場合が
あります。誤動作する場合は、「ファンクション設定」
(p34) を参照して、の「GUID」項目を「OFF」に設定し
てください。

イルミネーション (橙/白)
ILLUMI

車両のイルミネーション電源端子に接続してください。
接続しておくと、車両のライトスイッチを
オンにすると減光されます。

アクセサリー電源 (赤) ⁺
ACC

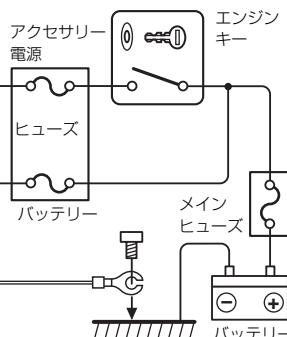
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続して
ください。

バッテリー電源 (黄) ⁺
BATT

メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーの
オン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電
源へ接続してください。

アース (黒) [−]

車の金属部分 (バッテリーのマイナス側と導通して
いるシャーシなどの一部) へ接続してください。



取り付け

付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を6本使用して車両プラケットなどに取り付けます。

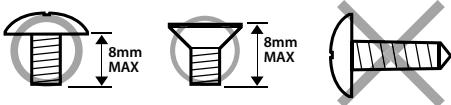
付属ネジ	個数
トラスネジ (M5×6mm)	6
サラネジ (M5×7mm)	6
セムスネジ (M4×8mm)	1



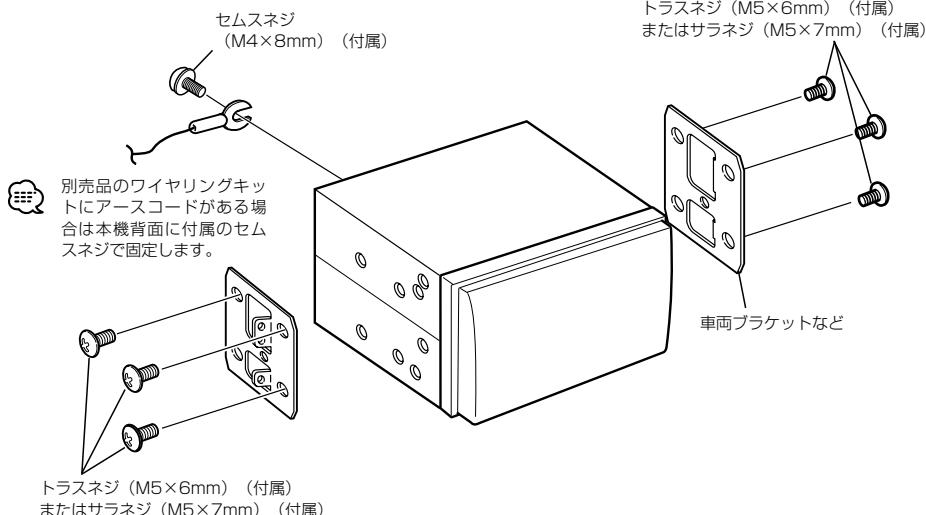
取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。また、短いネジを使用すると、本機が取付プラケットなどから外れことがあります。

なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。

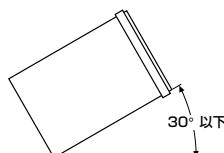


取り付け前にディスクで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/イジェクトを行ってください。



● 本機の取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

● 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります



● 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「Help? Troubleshooting」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。（別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。）

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください

● 保証期間経過後は…

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒に持ちください。
(本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

● 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

● 部品代：修理に使用した部品代です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）

：76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)

実用感度 (S/N: 30 dB)

：9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)

S/N 50 dB感度

：15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)

周波数特性 (±3.0 dB)

：30 Hz～15 kHz

S/N比

DPX-44、DPX-55MD: 75 dB (MONO)

DPX-66MD: 70 dB (MONO)

選択度 (±400 kHz)

：80 dB以上

ステレオセパレーション

DPX-44、DPX-55MD: 30 dB (1 kHz)

DPX-66MD: 40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）

：522 kHz～1629 kHz (9 kHz)

感度

：28 dB μ

CDプレーヤー部

レーザーダイオード

：GaAlAs

デジタルフィルター (D/A)

：8倍オーバーサンプリング

D/Aコンバーター

：1Bit

回転数

DPX-44、DPX-55MD

：500～200 rpm (線速度一定)

DPX-66MD

：1000～400 rpm (線速度一定、倍速)

ワウ & フラッター

：測定限界以下

周波数特性

：10 Hz～20 kHz (±1 dB)

高調波歪率

：0.008 % (1 kHz)

S/N比

：105 dB (1 kHz)

ダイナミックレンジ

：93 dB

MP3デコード (DPX-66MD)

：MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠

WMAデコード (DPX-66MD)

：Windows MediaTM Audio 準拠

AACデコード (DPX-66MD)

：AAC-LC ".m4a" ファイル

MDプレーヤー部

(DPX-55MD/DPX-66MD)

レーザーダイオード

：GaAlAs

デジタルフィルター (D/A)

：8倍オーバーサンプリング

D/Aコンバーター

：1Bit

回転数

：900～400 rpm

ワウ & フラッター

：測定限界以下

周波数特性

：20 Hz～20 kHz (±1 dB)

高調波歪率

：0.01 % (1 kHz)

S/N比

：90 dB (1 kHz)

ダイナミックレンジ

：90 dB

カセットテーププレーヤー部 (DPX-44)

テープスピード

: 4.76 cm/秒

ワウ&フラッター

: 0.1% (WRMS)

周波数特性 (±3 dB)

: 40 Hz~20 kHz (70 μ s)

S/N比

: 50 dB (Dolby B NR off)

: 60 dB (Dolby B NR on)

オーディオ部

最大出力

: 50 W × 4

定格出力

: 30 W × 4 (4Ω, 1kHz, 10%THD以下)

プリアウトレベル (FM) (DPX-66MD)

: 2.5 V/10 kΩ

プリアウトインピーダンス (DPX-66MD)

: 600 Ω以下

スピーカーインピーダンス

: 4~8 Ω

トーンコントロール

Bass : 100 Hz ±8 dB

Middle : 1 kHz ±8 dB

Treble : 10 kHz ±8 dB

電源部

電源電圧

: 14.4 V (11~16 V)

最大消費電流

: 10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W×H×D)

: 178×100×155 mm

質量 (重さ)

DPX-55MD/66MD : 1.9 kg

DPX-44 : 2.1 kg

付属部品

電源ハーネス

: 1本

トラスネジ

: 6本 (M5×6mm)

サラネジ

: 6本 (M5×7mm)

セムスネジ

: 1本 (M4×8mm)

AUX入力

周波数特性

: 20 Hz~20 kHz (±1 dB)

最大入力電圧

: 1200 mV

入力インピーダンス

: 100 kΩ

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）

携帯電話、PHS、IP電話からは 045-933-5133

FAX 045-933-5553

住所 〒226-8525 神奈川県横浜市緑区白山1-16-2

受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00

土曜 9:30～12:00、13:00～17:30

（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。